

群馬県繊維工業試験場の拡充並びに 敷地内の再整備・有効活用について（改訂継続）

群馬県繊維工業試験場は、全国で唯一の公的施設として群馬県民の誇りであり、また、研究開発、技術支援、人材育成・情報提供、産地課題への対応など、群馬県の繊維業界を全面的にサポートする様々な施策を積極的に展開している機関であります。

平成29年度にはクリーンルームやオープンインベションルームの設置、平成30年度には生地のパット・ドライ試験機の導入、令和元年度は人工気象室及び機器などの人間工学評価室が整備されるなど、その存在意義は年々高められておりますが、引き続いての最新機器導入による設備の整備、研究員等の人員配置拡充など、更なる機能充実を図るための積極的かつ充実した支援体制が取られるよう、群馬県に呼びかけていただくことを切望いたします。

また、敷地内には、昭和37年に開設された群馬地方発明センターの建物が残存しておりますが、その役割を終えた現在は廃墟化し、周辺の景観をも損ねております。

つきましては、これら施設を取り壊すなどの再整備、今後の有効活用についても是非ともご検討いただきますよう、併せて要望いたします。

桐生市からの回答

群馬県繊維工業試験場は、全国で唯一の繊維に特化した公設試験場であり、繊維関連の中小企業が多い本市にとって、極めて重要な施設であると認識しております。本市では、これまでも同試験場と市内の繊維関連企業との連携促進を図りながら、同試験場が行う研究開発や技術支援、人材養成等の取り組みに対して必要な支援を行っておりますが、こうした取り組みが同試験場の存在意義を高める効果もあると考えております。

県におきましては、繊維関連企業の成長の原動力となる新製品や新技術の開発を促進するため、最新機器を導入し施設の充実を図っておりますので、本市といたしましては、今後も、同試験場と連携を密にしながら、繊維産業の振興を図るとともに、皆様の御要望等をお聴きしながら、県に対し要望してまいりたいと考えております。

また、敷地内の未使用施設については、施設の一部を倉庫として利用している部署に対して、保管品の移動を要請するとともに、「桐生市公共施設等総合管理計画」を踏まえ、再整備・有効活用に向け、関係機関等と調整を図りながら検討してまいりたいと考えております。

[回答担当] 産業経済部商工振興課工業労政担当